

松戸市議団ニュース

日本共産党松戸市議会議員団

《連絡先》松戸市役所控室

電話 (366) 7403

F A X (366) 5915

松戸市3月議会が始まりました

毎月勤労統計の不正が発覚し、10月消費税増税前提の来年度予算が根拠を失っています。一斉地方選挙・参議院選挙への私達の奮闘によって増税中止を現実のものにするチャンスが見えてきました。アベ首相は憲法改悪への執念を捨てず、自治体の自衛官募集への協力を圧力をかけ若者の名簿を提出させようとしています。

そうした情勢のもとで松戸市3月議会が始まり、これまでに一般会計や国保・介護などの補正予算の審査が行われ、党市議団も28日の本会議で討論に立ちました。

代表質問では、うつの史行議員が5日(火)、市長の政治姿勢を質し、公共施設再編と大型開発、市民の暮らしや福祉、教育、子育て、平和などについて論戦します。

また予算審査特別委員会では、山口正子議員が新年度の予算審査に臨みます。市民の暮らし福祉を守るため市民の皆さんと心合わせて頑張ります。

◆代表質問 うつの史行 3月5日(火) 1番目

一、市長の政治姿勢について

(1) 平和への取り組みについて

ア、自衛官募集の自治体への要請について

イ、長崎平和大使派遣事業と平和教育について

ウ、本市から対外的に平和のメッセージを発信していることについて

(2) 市民の暮らしについて

ア、施政方針の中の市長の景気認識と市民の暮らしの認識について

イ、消費税増税の本市への影響について

(3) 公共施設再編と大型開発構想をめぐる財政問題とまちづくり手法および事業効果、ならびに市施策の優先順位と今後の総合計画への反映について

ア、財政的観点から、公共施設再編と大型開発の見通しについて

イ、市主導のまちづくり手法について

ウ、矢切観光拠点整備の事業効果と影響について

エ、福祉・教育など、市施策を含む優先順位の考え方について

(4) 地域共生社会と市民サービス、受益者負担という考え方について

二、福祉・子育て支援を中心に据えたまちづくりについて

(1) 子育て支援について

ア、児童館の増設について

イ、児童虐待の対策として、市立児童相談所の整備を

ウ、子どもの貧困対策について

エ、幼児教育・保育の無償化と保育行政のあり方について

オ、放課後児童クラブの充実について

(2) 広域化の影響と国民健康保険料の引き下げについて

(3) 介護制度の充実について

ア、介護サービスの提供と利用料負担の軽減について

イ、はいかい高齢者個人賠償責任保険事業の創設について

ウ、介護従事者の待遇改善について

エ、高齢者の全般的な生活支援について

(4) コミュニティバスの拡大および導入ガイドラインの策定について

(5) 公契約条例の制定について

ア、公共工事設計労務単価と賃金水準について

イ、公契約条例の必要性について

三、ゆきとどいた教育の実現に向けて

(1) 教員配置と多忙化の解消について

(2) 部活動指導について

(3) ゼロトレランス(不寛容)教育の問題、および求められる教育と子どもが幸せな学校とは。



◎3月議会の主な日程

日	曜	議事内容 (いずれも午前10時～)
3/5	火	本会議：一般質問(うつの史行代表質問) 10～
/6	水	総務財務常任委員会(うつの史行議員)
/8	金	健康福祉常任委員会(山口正子議員)
/11	月	教育環境常任委員会(平田きよみ議員)
/13	水	建設経済常任委員会(ミール計恵議員)
/14	木	予算審査特別委員会(山口正子議員)
/18	月	〃 (〃)
/19	火	〃 (〃)
/20	水	〃 (〃)
/25	月	本会議：議会最終日 (議案・予算・意見書等の討論、採決)

消費税 10%増税は中止を！！

～今こそ声をあげよう～

安倍政権は今年10月の消費税 10%増税に固執しています。しかし日本の経済は2014年の消費税増税後深刻な消費不況が続き、増税前に比べ家計の消費支出は年間25万円も落ち込んで、いまだに回復していません。

大企業がもうかれれば所得も雇用も増えるという「アベノミクス」の行き詰まりは明らかです。あきらめず、市民と野党の共闘で安倍政権を追いつめ、消費税増税を中止させましょう。

